

|                |  |       |       |
|----------------|--|-------|-------|
| クラス番号          | 630  | 担当教員名 | 村上 徹也 |
| テーマ            | 知多半島の新しい公共づくり～サービスラーニングの実践   |       |       |
| 著書・論文<br>研究課題等 | 研究課題：ボランティア活動、市民活動、サービスラーニング<br>著書・論文：<br>「大学におけるサービスラーニングへのアプローチ」、『愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーション創刊号 2007』、愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンターpp.89-103<br>「統計データで見るボランティア活動の現状と課題」、『ボランティア白書 2009』、日本青年奉仕協会、pp. 44-58 |       |       |

## ゼミナール概要

キーワード：サービスラーニング、NPO、ボランティア活動

### 目的：

本ゼミでは、知多半島における多様な NPO 等の市民セクターと協働して、ゼミの学生の問題意識、学習意欲、社会貢献力を活かしたサービスラーニングの実践によって、「新しい公共」の強化、発展に寄与することを目的とします。

近年「新しい公共」というキーワードがよく使われています。公共の問題をすべて行政機関が解決することは不可能で、市民（自らがつくる社会にたいして権利と責任を主体的に行使する人という意味で）が協力し合って解決していく取り組みについて理解と参加が進んでいます。このいわゆる市民セクターが担う公共を、これまで官に頼りがちだった既存の公共と対比する意味で、「新しい公共」という概念が強調されているのです。しかし、この流れは、同時に市民活動やその組織化されたものとしての NPO が力を更に増していかなければ、「新しい公共」は単なる行政の都合の良い下請け、本来任務の丸投げ先になり、市民セクターにとって欠かすことができない自立と自律が難しくなるという危険性もはらんでいます。

本ゼミではこうした問題意識にもとづいて、学生による NPO との協働プロジェクトをとおして知多地域における「新しい公共」づくりに寄与したいと考えています。

### 内容、方法等：

学内ゼミにおいては、学生の関心・問題意識にもとづいたボランティア活動、市民活動、NPO、市民セクター、市民社会についての学習・研究・議論・発表を行うとともに、ゼミとして教員と学生が協議して設定するテーマに沿った知多地域の市民セクターに貢献する活動（社会貢献型のフィールドワーク）の企画・準備・リフレクションを行います。

社会貢献型フィールドワークでは、テーマに応じた NPO の協議や活動の現場に出かけ、NPO の協議への参画、現場の調査、協働プロジェクトの企画・準備・実施などを行います。

### 授業計画：

3 年次は、社会貢献型フィールドワークを中心として、協働する NPO との協議にもとづいて実践と学習のスケジュールを、地域の状況に合わせて柔軟に組んで進めます。

4 年次は、引き続きサービスラーニングを継続しつつ、3 年次のサービスラーニングの経験にもとづいて、知多地域の市民セクターと学生、大学が共同して「新しい公共」を発展させるための問題提起、新たな取り組みの提案などを含んだ実践レポートのまとめる作業を中心に進めます。

## 担当教員からのメッセージ



担当教育の私は、大学では物理学を専攻しましたが、卒業と同時にボランティア活動にのめり込み、20 代後半はバングラデシュでボランティア活動をしながらサバイバルしていたような変わり種です。いろんなことを、ボランティア活動を通して、または活動する人たちとの様々な出会いを通して学んできて、いまがあります。

このゼミでは、学生たちにそんな学びの機会を提供できたらと思っています。いろいろな学生が集まってくれたら、ゼミが盛り上がると思います。興味を持った人は、遠慮なく誰でもエントリーしてください。